

## ◆資産関係

### ① ポートフォリオの推移(一般勘定)

#### a. 資産の構成

区分	2017年度末		2018年度末	
	金額	占率	金額	占率
現預金・コールローン	1,443,490	4.7	1,728,859	5.4
買入金銭債権	283,252	0.9	317,252	1.0
有価証券	24,902,898	81.5	25,981,809	81.4
公社債	13,043,393	42.7	13,348,453	41.8
株式	1,933,967	6.3	1,868,704	5.9
外国証券	9,864,763	32.3	10,636,418	33.3
公社債	8,800,982	28.8	9,398,093	29.4
株式等	1,063,780	3.5	1,238,325	3.9
その他の証券	60,773	0.2	128,231	0.4
貸付金	2,781,305	9.1	2,874,970	9.0
保険約款貸付	294,742	1.0	289,747	0.9
一般貸付	2,486,563	8.1	2,585,222	8.1
不動産	571,641	1.9	553,738	1.7
うち投資用	388,745	1.3	380,980	1.2
繰延税金資産	154,714	0.5	123,979	0.4
その他	425,958	1.4	337,027	1.1
貸倒引当金	△921	△0.0	△870	△0.0
一般勘定計	30,562,340	100.0	31,916,765	100.0
うち外貨建資産	9,252,661	30.3	10,117,094	31.7

(注)「不動産」については土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上しています。

#### b. 資産の増減

区分	2017年度		2018年度	
	金額		金額	
現預金・コールローン	436,474		285,368	
買入金銭債権	52,733		34,000	
有価証券	1,288,388		1,078,910	
公社債	81,501		305,059	
株式	233,359		△65,263	
外国証券	1,055,420		771,655	
公社債	961,764		597,111	
株式等	93,655		174,544	
その他の証券	△81,892		67,458	
貸付金	△191,383		93,665	
保険約款貸付	△8,548		△4,994	
一般貸付	△182,834		98,659	
不動産	△7,169		△17,903	
うち投資用	△13,220		△7,765	
繰延税金資産	30,104		△30,735	
その他	148,718		△88,930	
貸倒引当金	211		51	
一般勘定計	1,758,078		1,354,425	
うち外貨建資産	1,884,891		864,432	

(注)「不動産」については土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上しています。

### ② 資産別運用利回り(一般勘定)

(単位: %)

区分	2017年度	2018年度
現預金・コールローン	△3.18	3.86
買入金銭債権	1.24	1.11
有価証券	2.02	1.83
うち公社債	2.10	2.20
うち株式	3.92	5.11
うち外国証券	1.58	0.99
公社債	1.50	0.96
株式等	2.21	1.23
貸付金	1.04	1.12
うち一般貸付	0.69	0.78
不動産	2.98	2.94
うち投資用	4.31	4.33
一般勘定計	1.80	1.64
うち海外投融資	1.51	0.93

(注) 1. 利回り計算式の分母は帳簿価額ベースの日々平均残高、分子は経常損益中、資産運用収益－資産運用費用として算出した利回りです。

2. 当利回りの算出においては、デリバティブによる損益を分子に含めています。

3. 海外投融資とは、外貨建資産と円貨建資産の合計です。

## ③ 主要資産の平均残高(一般勘定)

(単位：百万円)

区分	2017年度	2018年度
現預金・コールローン	879,218	1,282,354
買入金銭債権	253,515	284,961
有価証券	23,437,082	24,492,284
うち公社債	12,981,196	13,165,898
うち株式	923,070	963,279
うち外国証券	9,438,824	10,270,272
公社債	8,441,886	9,161,433
株式等	996,937	1,108,838
貸付金	3,055,234	2,901,281
うち一般貸付	2,752,780	2,604,698
不動産	580,194	573,183
うち投資用	401,404	389,231
一般勘定計	29,081,309	30,566,089
うち海外投融資	10,477,811	11,860,449

## ④ 商品有価証券明細表(一般勘定) 商品有価証券は、取り扱っていません。

## ⑤ 商品有価証券売買高(一般勘定) 商品有価証券は、取り扱っていません。

## ⑥ 有価証券明細表(一般勘定)

(単位：百万円、%)

区分	2017年度末		2018年度末	
	金額	占率	金額	占率
国債	9,862,813	39.6	9,979,710	38.4
地方債	114,815	0.5	128,733	0.5
社債	3,065,764	12.3	3,240,009	12.5
うち公社・公団債	1,860,806	7.5	2,077,089	8.0
うち外貨建	470,359	1.9	444,724	1.7
株式	1,933,967	7.8	1,868,704	7.2
外国証券	9,864,763	39.6	10,636,418	40.9
公社債	8,800,982	35.3	9,398,093	36.2
うち外貨建	7,193,755	28.9	7,831,640	30.1
株式等	1,063,780	4.3	1,238,325	4.8
うち外貨建	760,731	3.1	909,479	3.5
その他の証券	60,773	0.2	128,231	0.5
合計	24,902,898	100.0	25,981,809	100.0
うち外貨建	8,424,846	33.8	9,185,845	35.4

## ⑦ 有価証券残存期間別残高(一般勘定)

(2017年度末)

(単位：百万円)

区分	1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超	期間の定め のないもの	合計
<b>有価証券</b>	<b>571,195</b>	<b>1,153,941</b>	<b>1,238,355</b>	<b>1,475,808</b>	<b>4,024,827</b>	<b>13,070,536</b>	<b>3,368,234</b>	<b>24,902,898</b>
国債	73,552	209,487	413,259	201,868	1,232,610	7,732,035	—	9,862,813
地方債	999	4,018	—	8,800	—	100,996	—	114,815
社債	95,756	101,971	163,269	280,749	562,395	1,545,798	315,824	3,065,764
株式							1,933,967	1,933,967
外国証券	400,886	838,464	661,546	984,390	2,229,620	3,691,705	1,058,149	9,864,763
公社債	400,868	835,276	661,546	984,390	2,229,102	3,689,798	—	8,800,982
株式等	18	3,187	—	—	518	1,906	1,058,149	1,063,780
その他の証券	—	—	279	—	200	—	60,293	60,773
買入金銭債権	48,986	—	—	—	—	160,506	—	209,492
譲渡性預金	441,084	—	—	—	—	—	—	441,084
その他	—	—	—	—	—	—	—	—
<b>合計</b>	<b>1,061,266</b>	<b>1,153,941</b>	<b>1,238,355</b>	<b>1,475,808</b>	<b>4,024,827</b>	<b>13,231,042</b>	<b>3,368,234</b>	<b>25,553,476</b>

(2018年度末)

(単位：百万円)

区分	1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超	期間の定め のないもの	合計
<b>有価証券</b>	<b>355,500</b>	<b>1,046,345</b>	<b>1,158,229</b>	<b>1,939,758</b>	<b>4,221,485</b>	<b>13,707,478</b>	<b>3,553,010</b>	<b>25,981,809</b>
国債	18,184	316,250	222,694	260,089	1,427,853	7,734,638	—	9,979,710
地方債	4,003	—	2,805	6,015	—	115,908	—	128,733
社債	31,933	90,793	222,797	264,570	471,271	1,822,337	336,305	3,240,009
株式							1,868,704	1,868,704
外国証券	301,378	639,128	709,932	1,408,677	2,321,647	4,034,594	1,221,060	10,636,418
公社債	301,359	639,128	706,602	1,408,677	2,318,015	4,024,309	—	9,398,093
株式等	19	—	3,329	—	3,631	10,284	1,221,060	1,238,325
その他の証券	—	174	—	404	713	—	126,938	128,231
買入金銭債権	13,998	—	—	—	—	160,260	—	174,259
譲渡性預金	386,779	—	—	—	—	—	—	386,779
その他	—	—	—	—	—	—	—	—
<b>合計</b>	<b>756,279</b>	<b>1,046,345</b>	<b>1,158,229</b>	<b>1,939,758</b>	<b>4,221,485</b>	<b>13,867,739</b>	<b>3,553,010</b>	<b>26,542,848</b>

(注)本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

## ⑧ 地域別地方債保有内訳(一般勘定)

(単位：百万円)

区分	2017年度末	2018年度末
北海道	—	—
東北	—	—
関東	58,621	67,567
中部	25,485	29,872
近畿	14,746	14,670
中国	116	115
四国	—	—
九州	15,846	16,508
<b>合計</b>	<b>114,815</b>	<b>128,733</b>

## ⑨ 保有公社債の期末残高利回り(一般勘定)

(単位：%)

区分	2017年度末	2018年度末
公社債	1.77	1.70
外国公社債	3.05	3.03

## ⑩ 業種別株式保有明細表(一般勘定)

(単位：百万円、%)

区分	2017年度末		2018年度末		
	金額	占率	金額	占率	
水産・農林業	308	0.0	346	0.0	
鉱業	92	0.0	76	0.0	
建設業	72,850	3.8	66,603	3.6	
製造業	食料品	75,310	3.9	71,668	3.8
	繊維製品	11,749	0.6	10,816	0.6
	パルプ・紙	8,191	0.4	8,504	0.5
	化学	218,401	11.3	210,998	11.3
	医薬品	145,839	7.5	185,645	9.9
	石油・石炭製品	7,701	0.4	6,891	0.4
	ゴム製品	7,122	0.4	5,922	0.3
	ガラス・土石製品	25,171	1.3	21,179	1.1
	鉄鋼	23,762	1.2	19,679	1.1
	非鉄金属	46,562	2.4	38,637	2.1
	金属製品	11,161	0.6	8,273	0.4
	機械	141,436	7.3	125,007	6.7
	電気機器	249,618	12.9	212,089	11.3
	輸送用機器	58,865	3.0	47,199	2.5
	精密機器	12,785	0.7	13,548	0.7
	その他製品	53,876	2.8	58,755	3.1
電気・ガス業	31,505	1.6	37,538	2.0	
運輸・情報通信業	陸運業	174,378	9.0	214,023	11.5
	海運業	3,439	0.2	2,700	0.1
	空運業	5,127	0.3	4,915	0.3
	倉庫・運輸関連業	8,905	0.5	9,392	0.5
	情報・通信業	19,328	1.0	19,660	1.1
商業	卸売業	114,684	5.9	108,329	5.8
	小売業	32,031	1.7	24,775	1.3
金融・保険業	銀行業	179,268	9.3	142,576	7.6
	証券・商品先物取引業	6,823	0.4	4,920	0.3
	保険業	109,985	5.7	110,056	5.9
	その他金融業	4,554	0.2	4,131	0.2
不動産業	25,639	1.3	28,228	1.5	
サービス業	47,485	2.5	45,610	2.4	
合計	1,933,967	100.0	1,868,704	100.0	

(注)業種区分は、「証券コード協議会」の「業種別分類項目」に準拠しています。

## 11 有価証券等の時価情報(一般勘定)

### a. 売買目的有価証券の評価損益

(単位：百万円)

区分	2017年度末		2018年度末	
	貸借対照表 計上額	当期の損益に含 まれた評価損益	貸借対照表 計上額	当期の損益に含 まれた評価損益
売買目的有価証券	395	△5	—	5

(注)本表では、「運用目的の金銭の信託」を通じて保有している有価証券も対象となっていますが、2017年度末、2018年度末ともに残高はありません。

### b. 有価証券の時価情報

#### ●有価証券の時価情報(売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの)

(単位：百万円)

区分	2017年度末				
	帳簿価額	時価	差損益	差益	差損
満期保有目的の債券	1,888,273	2,202,331	314,058	314,058	△0
責任準備金対応債券	11,206,795	13,156,647	1,949,852	1,995,109	△45,256
子会社・関連会社株式	33,173	53,967	20,793	20,793	—
その他有価証券	10,436,630	11,493,745	1,057,115	1,228,009	△170,894
公社債	1,649,259	1,714,504	65,245	82,711	△17,466
株式	838,599	1,812,663	974,063	986,723	△12,659
外国証券	7,260,364	7,257,270	△3,094	137,507	△140,601
公社債	7,039,984	7,034,408	△5,576	134,670	△140,246
株式等	220,380	222,862	2,482	2,837	△355
その他の証券	44,983	58,729	13,746	13,806	△60
買入金銭債権	202,323	209,492	7,169	7,261	△92
譲渡性預金	441,100	441,084	△15	—	△15
その他	—	—	—	—	—
合 計	23,564,872	26,906,692	3,341,819	3,557,971	△216,152
公社債	12,978,148	15,023,825	2,045,676	2,103,337	△57,660
株式	838,599	1,812,663	974,063	986,723	△12,659
外国証券	9,059,717	9,360,895	301,178	446,843	△145,665
公社債	8,806,163	9,084,066	277,902	423,212	△145,309
株式等	253,554	276,829	23,275	23,631	△355
その他の証券	44,983	58,729	13,746	13,806	△60
買入金銭債権	202,323	209,492	7,169	7,261	△92
譲渡性預金	441,100	441,084	△15	—	△15
その他	—	—	—	—	—

(単位：百万円)

区分	2018年度末				
	帳簿価額	時価	差損益	差益	差損
満期保有目的の債券	1,799,665	2,132,194	332,529	332,529	△0
責任準備金対応債券	11,674,328	13,813,577	2,139,248	2,147,061	△7,813
子会社・関連会社株式	33,173	55,574	22,400	22,400	—
その他有価証券	10,912,420	12,196,621	1,284,201	1,359,380	△75,178
公社債	1,746,572	1,849,618	103,045	104,399	△1,353
株式	839,591	1,747,909	908,317	946,912	△38,595
外国証券	7,663,264	7,913,036	249,772	284,817	△35,044
公社債	7,184,172	7,422,935	238,763	273,463	△34,699
株式等	479,091	490,100	11,008	11,353	△345
その他の証券	109,895	125,018	15,123	15,276	△153
買入金銭債権	166,297	174,259	7,962	7,973	△11
譲渡性預金	386,800	386,779	△20	—	△20
その他	—	—	—	—	—
合 計	24,419,588	28,197,967	3,778,379	3,861,372	△82,992
公社債	13,245,407	15,504,192	2,258,784	2,264,800	△6,015
株式	839,591	1,747,909	908,317	946,912	△38,595
外国証券	9,671,596	10,259,807	588,211	626,408	△38,196
公社債	9,159,330	9,714,132	554,802	592,654	△37,851
株式等	512,265	545,674	33,408	33,753	△345
その他の証券	109,895	125,018	15,123	15,276	△153
買入金銭債権	166,297	174,259	7,962	7,973	△11
譲渡性預金	386,800	386,779	△20	—	△20
その他	—	—	—	—	—

(注)本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の帳簿価額は以下のとおりです。

(単位：百万円)

区分	2017年度末	2018年度末
<b>満期保有目的の債券</b>	—	—
<b>非上場外国債券</b>	—	—
<b>その他</b>	—	—
<b>責任準備金対応債券</b>	—	—
<b>子会社・関連会社株式</b>	612,315	586,899
<b>その他有価証券</b>	309,293	243,910
<b>非上場国内株式(店頭売買株式を除く)</b>	13,620	16,136
<b>非上場外国株式(店頭売買株式を除く)</b>	293,558	224,558
<b>非上場外国債券</b>	—	—
<b>その他</b>	2,114	3,215
<b>合計</b>	921,609	830,809

#### 責任準備金対応債券について

・当社では、金利変動に対する資産・負債の時価変動を適切に管理する観点から、「保険業における「責任準備金対応債券」に関する当面の会計上及び監査上の取扱い」(日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第21号)に基づき、以下の保険契約群(小区分)を特定したうえで、これらに対応する債券の保有目的区分を「責任準備金対応債券」としています。

- ライブワン(最低保証利率付3年ごと利率変動型積立保険等の主契約)
- 一時払養老保険(ただし、一部を除く)
- 利率変動型終身保険(一時払)(予定利率変動型5年ごと利差配当付遞増終身保険(一時払い)等)
- 個人保険及び個人年金保険契約(ただし、一部保険種類を除く)
- 個人保険及び個人年金保険のうち、米ドル建の契約
- 個人保険及び個人年金保険のうち、豪ドル建の契約(ただし、5年ごと利差配当付指定通貨建個人年金保険(一時払い)を除く)
- 確定拠出年金保険及び新単位口利率設定特約
- 確定給付企業年金保険(O2)・新企業年金保険(単位口利率設定特約及び新単位口別利率設定特約を除く)等契約の今後30年以内に発生する見込みのキャッシュ・フローに対応する責任準備金
- 拠出型企業年金保険契約の今後30年以内に発生する見込みのキャッシュ・フローに対応する責任準備金
- ・これらの小区分において、保険契約群の責任準備金と、対応する保有債券のデュレーション(金利変動に対する時価変動の程度)が、一定幅の中で一致していることを定期的に検証しています。

### c. 金銭の信託の時価情報

#### ●運用目的の金銭の信託

2017年度末、2018年度末ともに残高がないため、記載していません。

#### ●運用目的以外の金銭の信託

2017年度末、2018年度末ともに残高がないため、記載していません。

#### (ご参考)

金融商品に係る会計基準における「時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券」についても一定の前提において算定した価額を含めた場合の時価情報は以下のとおりです。

(単位：百万円)

区分	2017年度末				
	帳簿価額	時価	差損益	差益	差損
満期保有目的の債券	1,888,273	2,202,331	314,058	314,058	△0
責任準備金対応債券	11,206,795	13,156,647	1,949,852	1,995,109	△45,256
子会社・関連会社株式	645,489	590,344	△55,144	20,793	△75,938
その他有価証券	10,745,924	11,812,522	1,066,598	1,237,549	△170,951
公社債	1,649,259	1,714,504	65,245	82,711	△17,466
株式	852,220	1,826,284	974,063	986,723	△12,659
外国証券	7,553,943	7,560,382	6,439	147,042	△140,603
公社債	7,039,984	7,034,408	△5,576	134,670	△140,246
株式等	513,958	525,974	12,015	12,372	△356
その他の証券	47,077	60,773	13,695	13,811	△115
買入金銭債権	202,323	209,492	7,169	7,261	△92
譲渡性預金	441,100	441,084	△15	—	△15
その他	—	—	—	—	—
合 計	24,486,482	27,761,846	3,275,363	3,567,511	△292,147
公社債	12,978,148	15,023,825	2,045,676	2,103,337	△57,660
株式	959,903	1,933,967	974,063	986,723	△12,659
外国証券	9,857,928	10,092,702	234,773	456,378	△221,604
公社債	8,806,163	9,084,066	277,902	423,212	△145,309
株式等	1,051,765	1,008,636	△43,129	33,165	△76,295
その他の証券	47,077	60,773	13,695	13,811	△115
買入金銭債権	202,323	209,492	7,169	7,261	△92
譲渡性預金	441,100	441,084	△15	—	△15
その他	—	—	—	—	—

(単位：百万円)

区分	2018年度末				
	帳簿価額	時価	差損益	差益	差損
満期保有目的の債券	1,799,665	2,132,194	332,529	332,529	△0
責任準備金対応債券	11,674,328	13,813,577	2,139,248	2,147,061	△7,813
子会社・関連会社株式	620,073	589,539	△30,534	22,813	△53,348
その他有価証券	11,156,330	12,448,781	1,292,450	1,367,633	△75,182
公社債	1,746,572	1,849,618	103,045	104,399	△1,353
株式	855,727	1,764,045	908,317	946,912	△38,595
外国証券	7,887,842	8,145,846	258,004	293,049	△35,045
公社債	7,184,172	7,422,935	238,763	273,463	△34,699
株式等	703,670	722,910	19,240	19,586	△345
その他の証券	113,090	128,231	15,140	15,297	△156
買入金銭債権	166,297	174,259	7,962	7,973	△11
譲渡性預金	386,800	386,779	△20	—	△20
その他	—	—	—	—	—
合 計	25,250,397	28,984,092	3,733,694	3,870,039	△136,344
公社債	13,245,407	15,504,192	2,258,784	2,264,800	△6,015
株式	960,387	1,868,704	908,317	946,912	△38,595
外国証券	10,378,414	10,921,923	543,509	635,054	△91,545
公社債	9,159,330	9,714,132	554,802	592,654	△37,851
株式等	1,219,084	1,207,790	△11,293	42,400	△53,693
その他の証券	113,090	128,231	15,140	15,297	△156
買入金銭債権	166,297	174,259	7,962	7,973	△11
譲渡性預金	386,800	386,779	△20	—	△20
その他	—	—	—	—	—

(注) 1. 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

2. 有価証券のうち時価のあるものに係る時価情報の差損益と本表の差損益との差額は、2017年度末が△66,455百万円、2018年度末が△44,684百万円となっています。

### 不動産(土地・借地権)の差損益

(単位：百万円)

区分	2017年度末	2018年度末
不動産の差損益	107,877	139,387

(注) 土地の時価については、不動産鑑定士による鑑定評価等による評価額、または公示価格に基づき合理的な調整を行って算定する評価額を使用しております。

#### d. デリバティブ取引の時価情報(ヘッジ会計適用・非適用の合算値)

##### ●差損益の内訳(ヘッジ会計適用分・非適用分の内訳)

(単位：百万円)

区分	2017年度末						2018年度末					
	金利関連	通貨関連	株式関連	債券関連	その他	合計	金利関連	通貨関連	株式関連	債券関連	その他	合計
ヘッジ会計適用分	701	169,860	—	—	—	170,561	452	47,271	—	—	—	47,723
ヘッジ会計非適用分	—	9,956	—	—	—	9,956	—	△313	△7	—	1,232	912
合計	701	179,816	—	—	—	180,518	452	46,957	△7	—	1,232	48,636

(注) ヘッジ会計適用分のうち時価ヘッジ適用分、及びヘッジ会計非適用分の差損益は、損益計算書に計上されています。

なお時価ヘッジ適用分の差損益は、2017年度末通貨関連 180,238百万円、2018年度末通貨関連 28,497百万円となっています。

##### ●金利関連

(単位：百万円)

区分	種類	2017年度末			2018年度末				
		契約額等		時価	差損益	契約額等		時価	差損益
		うち1年超	うち1年超			うち1年超	うち1年超		
店頭	金利スワップ 固定金利受取/変動金利支払 固定金利支払/変動金利受取	32,520 47,808	29,236 47,808	40 660	40 660	29,236 49,945	19,535 49,945	103 349	103 349
	合計				701				452

(注) 1. 差損益欄には、時価を記載しています。

#### (ご参考)金利スワップ契約の内容

(単位：百万円、%)

区分	2018年度末						
	1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超	合計
受取固定・支払変動スワップの想定元本額	9,701	8,455	11,070	10	—	—	29,236
平均受取固定金利	0.73	0.91	1.20	0.86	—	—	0.96
平均支払変動金利	0.21	0.76	1.16	0.58	—	—	0.73
支払固定・受取変動スワップの想定元本額	—	49,945	—	—	—	—	49,945
平均支払固定金利	—	2.68	—	—	—	—	2.68
平均受取変動金利	—	3.41	—	—	—	—	3.41

##### ●通貨関連

(単位：百万円)

区分	種類	2017年度末			2018年度末				
		契約額等		時価	差損益	契約額等		時価	差損益
		うち1年超	うち1年超			うち1年超	うち1年超		
店頭	為替予約 売建 (米ドル) (ユーロ) (豪ドル)	7,090,003 3,773,737 1,822,000 1,195,503	187,916 127,932 — 59,984	194,100 143,034 9,955 35,417	194,100 143,034 9,955 35,417	7,364,537 3,134,162 2,416,954 1,413,999	437,618 — — 437,618	35,203 △39,862 73,198 4,886	35,203 △39,862 73,198 4,886
	買建 (豪ドル) (米ドル) (ユーロ)	273,894 51,180 170,630 52,083	— — △3,616 △321	△3,905 32 △3,616 △321	△3,905 32 △3,616 △321	290,616 266,038 22,550 —	— — — —	△6,908 △7,036 124 —	△6,908 △7,036 124 —
	通貨オプション 売建 コール (米ドル)	— — —	— — —	— — —	— — —	172,500 (465) 172,500 (465)	— — —	425 425 39	39
	買建 プット (米ドル)	— —	— —	— —	— —	157,500 (1,585) 157,500 (1,585)	— —	1,434 1,434	△151 △151
	通貨スワップ (米ドル) (ユーロ)	26,780 24,326 2,454	26,780 24,326 2,454	615 808 △193	615 808 △193	37,806 35,351 2,454	37,806 35,351 2,454	△972 △893 △78	△972 △893 △78
	合計				190,810				27,211

(注) 1. ( )内には、オプション料を記載しています。

2. 外貨建金銭債権債務等に為替予約又は通貨スワップが付されていることにより、決済時における円貨額が確定している外貨建金銭債権債務等で、貸借対照表において当該円貨額で表示されているものについては、開示の対象より除いています。なお、開示の対象より除いている為替予約は、2017年度末が豪ドル売建の契約額 53,778百万円、時価 △18,082百万円、差損益 △18,082百万円です。開示の対象より除いている通貨スワップは、2017年度末が米ドルの契約額 386,121百万円、時価 7,089百万円、差損益 7,089百万円、2018年度末が米ドルの契約額 400,833百万円、時価 19,745百万円、差損益 19,745百万円です。

3. 差損益欄には、為替予約及びスワップ取引については時価を記載し、オプション取引についてはオプション料と時価との差額を記載しています。

## ●株式関連

(単位：百万円)

区分	種類	2017年度末			2018年度末				
		契約額等		時価	差損益	契約額等		時価	差損益
		うち1年超				うち1年超			
取引所	株価指數先物 買建	—	—	—	—	1,067	—	△7	△7
	合計								△7

(注) 差損益欄には、時価を記載しています。

## ●債券関連

2017年度末、2018年度末ともに残高がないため、記載していません。

## ●その他

(単位：百万円)

区分	種類	2017年度末			2018年度末				
		契約額等		時価	差損益	契約額等		時価	差損益
		うち1年超				うち1年超			
店頭	マルチ・アセット指數オプション 売建 コール 買建 コール	(—)	—	—	—	78,933 (34)	—	197	△163
		(—)	—	—	—	72,059 (1,567)	—	2,963	1,395
	合計								1,232

(注) 1. 括弧内には、オプション料を記載しています。

2. 差損益欄には、オプション料と時価との差額を記載しています。

## 12 貸付金明細表(一般勘定)

(単位：百万円)

区分	2017年度末			2018年度末		
保険約款貸付		294,742			289,747	
契約者貸付		269,473			264,921	
保険料振替貸付		25,268			24,825	
一般貸付 (うち非居住者貸付)		2,486,563 (57,808)			2,585,222 (59,945)	
企業貸付 (うち国内企業向け) 国・国際機関・政府関係機関貸付 公共団体・公企業貸付 住宅ローン 消費者ローン その他		1,698,260 (1,650,452) 779,420 5,092 3,788 1 —			1,606,471 (1,556,525) 961,433 14,045 3,269 3 —	
合計		2,781,305			2,874,970	

## 13 貸付金残存期間別残高(一般勘定)

(2017年度末)

(単位：百万円)

区分	1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超	期間の定め のないもの	合計
変動金利	44,894	62,074	370	26,435	14,423	56,636	40,000	244,834
固定金利	971,412	327,292	230,414	181,810	291,888	238,910	—	2,241,728
一般貸付計	1,016,306	389,366	230,784	208,246	306,311	295,547	40,000	2,486,563

(2018年度末)

(単位：百万円)

区分	1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超	期間の定め のないもの	合計
変動金利	48,646	54,565	371	4,426	18,746	59,087	10,000	195,844
固定金利	1,150,032	235,161	216,037	212,984	247,476	327,686	—	2,389,378
一般貸付計	1,198,679	289,727	216,408	217,410	266,223	386,774	10,000	2,585,222

## 14 国内企業向け貸付金企業規模別内訳(一般勘定)

(単位：件、百万円、%)

区分	2017年度末		2018年度末	
		占率		占率
大企業	貸付先数	178	80.9	176
	金額	1,490,559	90.3	1,384,790
中堅企業	貸付先数	2	0.9	1
	金額	2,821	0.2	1,000
中小企業	貸付先数	40	18.2	51
	金額	157,072	9.5	170,735
国内企業向け貸付計	貸付先数	220	100.0	228
	金額	1,650,452	100.0	1,556,525

(注) 1. 規模の区分は業種により以下のとおり定義しています。

業種	①右の②、③、④を除く全業種	②小売業、飲食業	③サービス業	④卸売業
大企業	常用する従業員300人超かつ 資本金10億円以上	常用する従業員50人超かつ 資本金10億円以上	常用する従業員100人超かつ 資本金5千万円超10億円未満	常用する従業員100人超かつ 資本金1億円超10億円未満
中堅企業				
中小企業	資本金3億円以下または常用する従業員300人以下	資本金5千万円以下または常用する従業員50人以下	資本金5千万円以下または常用する従業員100人以下	資本金1億円以下または常用する従業員100人以下

2. 貸付先数とは、各貸付先を名寄せした結果の債務者数をいい、貸付件数ではありません。

3. 従業員数及び資本金額は、資料作成時点で当社が把握しているものによります。

4. サービス業は、「物品販賣業」、「学術研究・専門・技術サービス業」、「宿泊業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「教育、学習支援業」、「医療・福祉」、及び「その他のサービス」で構成されます。

5. 規模の区分は、日本銀行の「貸出先別貸出金(業種別、設備資金新規貸出)」の規模区分に準拠しています。

## 15 貸付金業種別内訳(一般勘定)

(単位：百万円、%)

区分	2017年度末		2018年度末		
	金額	占率	金額	占率	
国内向け	249,993	10.1	188,961	7.3	
	食料	13,121	0.5	12,142	0.5
	織維	3,130	0.1	400	0.0
	木材・木製品	300	0.0	600	0.0
	パルプ・紙	12,070	0.5	12,040	0.5
	印刷	—	—	—	—
	化学	39,234	1.6	24,422	0.9
	石油・石炭	36,430	1.5	31,230	1.2
	窯業・土石	10,390	0.4	10,518	0.4
	鉄鋼	48,600	2.0	44,800	1.7
	非鉄金属	6,150	0.2	6,150	0.2
	金属製品	—	—	190	0.0
	はん用・生産用・業務用機械	19,532	0.8	12,864	0.5
	電気機械	36,766	1.5	20,442	0.8
	輸送用機械	20,710	0.8	9,522	0.4
	その他の製造業	3,560	0.1	3,640	0.1
海外向け	農業、林業	—	—	—	—
	漁業	—	—	—	—
	鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	—	—
	建設業	1,606	0.1	1,937	0.1
	電気・ガス・熱供給・水道業	235,998	9.5	235,476	9.1
	情報通信業	29,600	1.2	26,100	1.0
	運輸業、郵便業	144,435	5.8	147,288	5.7
	卸売業	405,750	16.3	397,950	15.4
	小売業	5,061	0.2	4,452	0.2
	金融業、保険業	328,616	13.2	301,805	11.7
	不動産業	129,676	5.2	136,701	5.3
	物品販賣業	109,609	4.4	115,634	4.5
	学術研究・専門・技術サービス業	—	—	—	—
	宿泊業	1,000	0.0	1,000	0.0
	飲食業	—	—	—	—
	生活関連サービス業、娯楽業	—	—	—	—
	教育、学習支援業	—	—	—	—
	医療・福祉	—	—	—	—
	その他のサービス	10,176	0.4	9,091	0.4
	地方公共団体	92	0.0	45	0.0
	個人(住宅・消費・納税資金等)	3,790	0.2	3,272	0.1
	合計	2,428,755	97.7	2,525,277	97.7
政府等	政府等	10,000	0.4	10,000	0.4
	金融機関	47,808	1.9	49,945	1.9
	商工業等	—	—	—	—
一般貸付計	合計	57,808	2.3	59,945	2.3
	一般貸付計	2,486,563	100.0	2,585,222	100.0

(注) 1. 国内向けの区分は、日本銀行の「貸出先別貸出金(業種別、設備資金新規貸出)」の業種分類に準拠しています。

2. 「国内向け貸付の合計」ならびに「一般貸付計」には日本国政府向け貸出を含みます。(2017年度末 7,733億円、2018年度末 9,555億円)

## 16 貸付金使途別内訳(一般勘定)

(単位：百万円、%)

区分	2017年度末		2018年度末	
	金額	占率	金額	占率
設備資金	265,979	10.7	238,254	9.2
運転資金	1,056,863	42.5	1,022,288	39.5

(注) 占率には、一般貸付金残高に対する割合を記載しています。

## 17 貸付金地域別内訳(一般勘定)

(単位：百万円、%)

区分	2017年度末		2018年度末	
	金額	占率	金額	占率
北海道	12,377	0.5	11,355	0.5
東 北	22,495	0.9	19,309	0.8
関 東	2,037,240	84.0	2,161,029	85.7
中 部	93,501	3.9	85,688	3.4
近 畿	181,935	7.5	171,143	6.8
中 国	28,229	1.2	26,609	1.1
四 国	10,100	0.4	10,100	0.4
九 州	39,085	1.6	36,770	1.5
合 計	2,424,964	100.0	2,522,004	100.0

(注) 1. 個人ローン、非居住者貸付、保険約款貸付等は含みません。

2. 地域区分は、資料作成時点で当社が把握している貸付先の本社所在地によります。

## 18 貸付金担保別内訳(一般勘定)

(単位：百万円、%)

区分	2017年度末		2018年度末	
	金額	占率	金額	占率
担保貸付	12,724	0.5	16,221	0.6
有価証券担保貸付	350	0.0	250	0.0
不動産・動産・財団担保貸付	12,374	0.5	15,971	0.6
指名債権担保貸付	—	—	—	—
保証貸付	25,953	1.0	22,605	0.9
信用貸付	2,444,095	98.3	2,543,123	98.4
その他	3,790	0.2	3,272	0.1
一般貸付計	2,486,563	100.0	2,585,222	100.0
うち劣後特約付貸付	173,000	7.0	117,000	4.5

## 19 リスク管理債権の状況

(単位：百万円、%)

区分	2017年度末	2018年度末
破綻先債権額	—	—
延滞債権額	909	787
3カ月以上延滞債権額	—	—
貸付条件緩和債権額	—	—
合 計 (貸付残高に対する比率)	909 (0.03)	787 (0.03)

(注) 1. 破綻先及び実質破綻先に対する担保・保証付債権等について、債権額から担保の評価額及び保証等による回収が可能と認められる金額を控除した残額を取立不能見込額として債権額から直接減額しています。その金額は、2018年度末が延滞債権額21百万円、2017年度末が延滞債権額22百万円です。

2. 破綻先債権とは、元本又は利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により元本又は利息の取立て又は弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸付金(未収利息不計上貸付金)のうち、会社更生法、民事再生法、破産法、会社法等による手続き申立てにより法的倒産となった債務者、又は手形交換所の取引停止処分を受けた債務者、あるいは、海外の法律により上記に準ずる法律上の手続き申立てがあった債務者に対する貸付金です。

3. 延滞債権とは、未収利息不計上貸付金であって、上記破綻先債権及び債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したもの以外の貸付金です。

4. 3カ月以上延滞債権とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3カ月以上遅延しているもので、破綻先債権、延滞債権に該当しない貸付金です。

5. 貸付条件緩和債権とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行ったもので、破綻先債権、延滞債権及び3カ月以上延滞債権に該当しない貸付金です。

## 20 債務者区分による債権の状況

(単位：百万円、%)

区 分	2017年度末	2018年度末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	—	—
危険債権	938	813
要管理債権	—	—
小計	938	813
(対合計比)	(0.02)	(0.01)
正常債権	5,766,956	6,323,020
合計	5,767,895	6,323,833

- (注) 1. 破産更生債権及びこれらに準ずる債権とは、破産手続開始、更生手続開始又は再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。  
 2. 危険債権とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。  
 3. 要管理債権とは、3カ月以上延滞貸付金及び条件緩和貸付金です。なお、3カ月以上延滞貸付金とは、元本又は利息の支払が、約定支払日の翌日から3カ月以上遅延している貸付金(注1及び2に掲げる債権を除く。)、条件緩和貸付金とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸付金(注1及び2に掲げる債権並びに3カ月以上延滞貸付金を除く。)です。  
 4. 正常債権とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、注1から3までに掲げる債権以外のものに区分される債権です。

## (ご参考)貸付金に関する自己査定の状況

(単位：億円、%)

区 分	2017年度末		2018年度末	
	金額	占率	金額	占率
非分類	27,740	99.7	28,702	99.8
Ⅱ分類	72	0.3	46	0.2
Ⅲ分類	0	0.0	0	0.0
Ⅳ分類	—	—	—	—
貸付金残高	27,813	100.0	28,749	100.0

- (注) 1. Ⅲ分類債権に対して、個別貸倒引当金を、2018年度末は0億円、2017年度末は0億円計上しています。  
 2. 破綻先及び実質破綻先に対する債権については、債権額から担保の評価額及び保証等による回収可能見込額を控除した残額を取立不能見込額として債権額から直接減額しており、その金額は、2018年度末が0億円、2017年度末が0億円です。

## (ご参考)貸倒引当金の状況

(単位：億円)

区 分	2017年度末	2018年度末
個別貸倒引当金残高	2	2
一般貸倒引当金残高	7	6
貸倒引当金合計	9	8

## 21 元本補填契約のある信託に係る貸出金の状況

該当ありません。

## 22 保険金等の支払能力の充実の状況(ソルベンシー・マージン比率)

(単位：百万円)

項目	2017年度末	2018年度末
ソルベンシー・マージン総額(A)	4,120,339	4,420,380
基金等	904,581	862,051
価格変動準備金	656,947	744,447
危険準備金	349,400	364,300
一般貸倒引当金	717	616
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)×継延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	960,726	1,162,631
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	48,810	77,337
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	709,854	719,371
負債性資本調達手段等	499,924	499,924
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	△80,000	△80,000
その他	69,376	69,699
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_8)^2+(R_2+R_3+R_7)^2+R_4}$ (B)	943,293	950,497
保険リスク相当額 R <sub>1</sub>	71,018	68,818
第三分野保険の保険リスク相当額 R <sub>8</sub>	57,901	60,561
予定利率リスク相当額 R <sub>2</sub>	200,480	196,919
最低保証リスク相当額 R <sub>7</sub> *	3,474	3,700
資産運用リスク相当額 R <sub>3</sub>	709,438	719,832
経営管理リスク相当額 R <sub>4</sub>	20,846	20,996
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	873.6%	930.1%

※最低保証リスク相当額は、平成8年大蔵省告示第50号別表6の2に定める標準的方式により算出しています。

(注) 上記は、保険業法第130条、保険業法施行規則第86条及び第87条並びに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

## ◆ソルベンシー・マージン比率について

「ソルベンシー・マージン」とは、大地震や株の大暴落といった通常予測できる範囲を超える諸リスクに対応するための「支払余力」を意味しています。

ソルベンシー・マージン比率とは、通常予測できる範囲を超える諸リスクを数値化した「リスクの合計額」に対する「ソルベンシー・マージン総額」の比率であり、通常の予測を超えて発生するリスクをどれだけカバーできるかを表す指標のひとつです。この数値が200%を下回った場合、監督当局によって「早期是正措置」が発動されます。

ソルベンシー・マージン比率は経営の健全性を示す一つの指標ですが、この比率だけをとらえて経営の健全性の全てを判断することは適当ではありません。資産運用の状況や業績の推移等の経営情報などから総合的に判断する必要があります。

## ◆ソルベンシー・マージン総額について

「ソルベンシー・マージン総額」を構成する各項目の内容および法令上の根拠は以下のとおりです。

項目	内容	法令上の根拠
基金等	貸借対照表上の純資産の部合計から、評価・換算差額等合計を控除したうえ、剩余金の処分として支出する金額(社員配当準備金に積み立てる金額を含みます。)を控除した額を記載しています。なお、規則第86条第1項第1号に定める事項のうち、「保険業法(以下、「法」)第113条前段の規定により貸借対照表の資産の部に計上した金額及び継延資産として貸借対照表の資産の部に計上した金額」については、当社には該当事項はありません。 $\text{基金等} = \boxed{\text{貸借対照表上の純資産の部合計}} - \boxed{\text{評価・換算差額等合計}} - \boxed{\text{剩余金の処分として支出する金額}} - \boxed{\text{その他(継延資産等)}}$	保険業法施行規則(以下、「規則」)第86条第1項第1号
基金	「基金等」に含まれる項目のうち、基金については、以下のとおりです。 ・基金は、株式会社の資本金に該当する相互会社の担保財産として保険業法で定められているもので、貸借対照表上の純資産の部に計上されています。 ・基金は契約で定められた期日に償却を行いますが、元金の返済に加えて、別途、同額の基金償却積立金を内部留保として積み立てることが必要とされています。基金の償却期日については、165ページの「基金償却スケジュール」をご覧ください。	
価格変動準備金	貸借対照表上の価格変動準備金の額を記載しています。 価格変動準備金は、法第115条第1項により、保険会社に対し、所有する株式等の価格変動により生じ得る損失に備えて積み立てることが求められているものです。 株式等の売買等による損失の額が株式等の売買等による利益の額を超える場合においてその差額のてん補に充てる場合、その他金融庁長官の認可を受けたとき、取崩することができます。	規則第86条第1項第2号

危険準備金	<p>貸借対照表上の責任準備金の一部である危険準備金の額を記載しています。</p> <p>危険準備金は、規則第69条第1項第3号により、保険会社に対し、保険契約に基づく将来の債務を確実に履行するため将来発生が見込まれる危険(保険リスク、第三分野保険の保険リスク、予定利率リスク、最低保証リスク)に備えて積み立てることが求められているものです。死差損・利差損がある場合、最低保証に係る収支残が負の場合において、当該損失のてん補に充てるときに取崩すことができます。</p> <p>なお、業務又は財産の状況等に照らし、やむを得ない事情がある場合には、これらによらない取崩しを行うことができます。</p> <p>*保険リスク、第三分野保険の保険リスク、予定利率リスク、最低保証リスクの意味については、「リスクの合計額について」をご覧ください。</p>	規則第86条 第1項第3号															
一般貸倒引当金	貸借対照表上の貸倒引当金の一部である一般貸倒引当金の額を記載しています。	規則第86条 第1項第4号															
その他有価証券評価差額金・繰延ヘッジ損益(税効果控除前)	<p>以下の各金額であって税効果適用前のものの合計額に、当該金額がプラスの場合は90%を、マイナスの場合は100%を乗じて得た額を記載しています。</p> <p>ア. 貸借対照表上のその他有価証券評価差額金の額</p> <p>イ. 貸借対照表上の繰延ヘッジ損益の額(ヘッジ対象に係る評価差額が貸借対照表のその他有価証券評価差額金に計上されている場合におけるものに限る。)</p>	規則第86条 第1項第5号															
土地の含み損益	土地の時価と帳簿価額の差額に、当該金額がプラスの場合は85%を、マイナスの場合は100%を乗じて得た額を記載しています。土地の時価と帳簿価額の差額には、貸借対照表上の土地再評価差額金および貸借対照表上の再評価に係る繰延税金負債の合計額が含まれます。	規則第86条 第1項第6号															
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	<p>貸借対照表上の責任準備金の一部である以下のアの額からイ及びウの合計額を控除した残額を記載しています。</p> <p>ア. 保険料積立金及び未経過保険料の合計額</p> <p>イ. 以下の①と②のいずれか大きい額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 保険契約の締結時の費用を保険料払込期間にわたり償却する方法その他これに類似する方法により計算した保険料積立金の額に未経過保険料を加えた額</li> <li>② 保有する保険契約が保険事故未発生のまま消滅したとして計算した支払相当額</li> </ul> <p>ウ. 規則第69条第5項の規定に基づき追加して積み立てた保険料積立金の額を積み立てていないものとして、法第121条第1項に基づき保険計理人が行う確認その他の検証により、追加して積み立てておくことが必要である保険料積立金の額</p>	規則第86条 第1項第7号 及び平成8年 大蔵省告示 (以下、「告示」)第50号第1条第4項第1号															
負債性資本調達手段等	<p>貸借対照表上の社債及び借入金の一部である以下の負債性資本調達手段等の額を記載しています。</p> <p>(単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2017年度末</th> <th>2018年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負債性資本調達手段等の額(①+②+③)</td> <td>499,924</td> <td>499,924</td> </tr> <tr> <td>告示第50号第1条第4項第5号イに掲げるもの(永久劣後債務)の額(①)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>告示第50号第1条第4項第5号口に掲げるもの(期限付劣後債務)の額(②)</td> <td>499,924</td> <td>499,924</td> </tr> <tr> <td>不算入額(③)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	2017年度末	2018年度末	負債性資本調達手段等の額(①+②+③)	499,924	499,924	告示第50号第1条第4項第5号イに掲げるもの(永久劣後債務)の額(①)	—	—	告示第50号第1条第4項第5号口に掲げるもの(期限付劣後債務)の額(②)	499,924	499,924	不算入額(③)	—	—	規則第86条 第1項第7号及び告示 第50号第1条第4項第5号
項目	2017年度末	2018年度末															
負債性資本調達手段等の額(①+②+③)	499,924	499,924															
告示第50号第1条第4項第5号イに掲げるもの(永久劣後債務)の額(①)	—	—															
告示第50号第1条第4項第5号口に掲げるもの(期限付劣後債務)の額(②)	499,924	499,924															
不算入額(③)	—	—															
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	全期チルメル式責任準備金相当額超過額と負債性資本調達手段等(告示第50号第1条第6項に規定される特定負債性資本調達手段を除く)の合計額のうち、中核的支払余力(基金等、価格変動準備金、危険準備金、配当準備金未割当部分、マイナスのその他有価証券評価差額金・繰延ヘッジ(税効果控除前)の合計額から繰延税金資産の不算入額及び告示第50号第1条第5項に規定される再保険契約に係る未償却出手数料残高の額を控除した額)を超える額を記載しています。	規則第86条 第1項第7号及び告示 第50号第1条第5項															
控除項目	<p>以下の各金額の合計額を記載しています。</p> <p>ア. 当社が保有している他の保険会社や金融機関等の資本調達手段等のうち、保険会社向けの総合的な監督指針に規定されている「意図的保有」に該当する額</p> <p>イ. 告示第50号第1条の3に規定される再保険契約に係る未償却出手数料残高の額</p>	規則第86条 第1項第7号及び告示 第50号第1条の2、3															
その他	<p>以下の各金額の合計額を記載しています。</p> <p>ア. 繰延税金資産の不算入額。繰延税金資産(価格変動準備金、保険契約準備金、評価・換算差額等に係る額を除く)のうち、告示第50号第1条第1項に規定される繰延税金資産算入基準額の20%を超過する額です。</p> <p>イ. 配当準備金未割当部分。配当準備金未割当部分は、貸借対照表上の社員配当準備金(社員配当準備金総額から翌期配当所要額を控除した額を含む。)のうち、社員に対する剩余金の分配として割り当てた額を超える額です。</p> <p>ウ. 税効果相当額。税効果相当額は、任意積立金の取崩しを行うこと等によりリスク対応財源として期待できるものとして計算した額です。</p>	規則第86条 第1項及び告示 第50号第1条第1項、第4項第2号、第3号、第7項															

#### ◆リスクの合計額について

「リスクの合計額」を構成する各項目の内容および法令上の根拠は以下のとおりです。

項目	内容	法令上の根拠
保険リスク相当額	保険リスクに対応する額を記載しています。 保険リスクは、「実際の保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険」のうち、第三分野保険に係るもの以外のものです。 保険リスクは、普通死亡リスク、生存保障リスク、その他のリスクで構成されます。	規則第87条 第1号
第三分野保険の保険リスク相当額	第三分野保険の保険リスクに応する額を記載しています。 第三分野保険の保険リスクは、「実際の保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険」のうち、第三分野保険に係るものです。 第三分野保険の保険リスクは、ストレステストの対象とするリスク、災害死亡リスク、災害入院リスク、疾病入院リスク、その他のリスクで構成されます。	規則第87条 第1号の2
予定利率リスク相当額	予定利率リスクに対応する額を記載しています。 予定利率リスクは、「責任準備金の算出の基礎となる予定利率を確保できなくなる危険」です。	規則第87条 第2号
最低保証リスク相当額	最低保証リスクに対応する額を記載しています。 最低保証リスクは、「特別勘定を設けた保険契約であって、保険金等の額を最低保証するものについて、当該保険金等を支払うときにおける特別勘定に属する財産の価額が、当該保険契約が最低保証する保険金等の額を下回る危険であって、当該特別勘定に属する財産の通常の予測を超える価額の変動等により発生し得る危険」です。	規則第87条 第2号の2
資産運用リスク相当額	資産運用リスクに対応する額を記載しています。 資産運用リスクは、「資産の運用等に関する危険であって、保有する有価証券その他の資産の通常の予測を超える価格の変動その他の理由により発生し得る危険」です。 資産運用リスクは、価格変動等リスク、信用リスク、子会社等リスク、デリバティブ取引リスク、信用スプレッドリスク、再保険リスク、再保険回収リスクで構成されます。	規則第87条 第3号
経営管理リスク相当額	経営管理リスクに対応する額を記載しています。 経営管理リスクは、「業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険であって、保険リスク、第三分野保険の保険リスク、予定利率リスク、最低保証リスクおよび資産運用リスクに該当しないもの」です。	規則第87条 第4号

## 23 有形固定資産明細表

## a. 有形固定資産の明細

(2017年度)

(単位：百万円、%)

区分	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期償却額	当期末残高	減価償却累計額	償却累計率
土地	370,032	21,277	32,269 (3,924)	—	359,040	—	—
建物	207,876	11,664	5,653 (2,445)	12,899	200,987	390,225	66.0
リース資産	1,146	—	4	798	344	3,856	91.7
建設仮勘定	902	19,459	8,748	—	11,613	—	—
その他の有形固定資産	3,897	1,663	28	1,290	4,242	23,741	84.8
合計	583,856	54,065	46,704	14,988	576,228	417,823	—

(2018年度)

(単位：百万円、%)

区分	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期償却額	当期末残高	減価償却累計額	償却累計率
土地	359,040	2,007	9,363 (3,178)	—	351,684	—	—
建物	200,987	7,272	11,049 (7,265)	12,796	184,413	388,233	67.7
リース資産	344	7,811	99	1,268	6,787	5,466	44.6
建設仮勘定	11,613	9,462	3,436	—	17,640	—	—
その他の有形固定資産	4,242	2,622	99	1,398	5,367	20,433	79.1
合計	576,228	29,176	24,048	15,463	565,893	414,133	—

1. 「当期減少額」欄の( )内には、減損損失の計上額を記載しています。

2. 2018年度末の賃貸等不動産残高は、383,454百万円です。

## b. 不動産残高及び賃貸用ビル保有数

(単位：百万円)

区分	2017年度末	2018年度末
不動産残高	571,641	553,738
営業用	182,896	172,758
賃貸用	388,745	380,980
賃貸用ビル保有数	97棟	93棟

## 24 その他の資産明細表

(2017年度)

(単位：百万円)

資産の種類	取得原価	当期増加額	当期減少額	減価償却累計額	当期末残高
線延資産	24,855	29	111	23,981	873
その他	7,579	5	194	5,177	2,402
合計	32,435	34	306	29,159	3,276

(2018年度)

(単位：百万円)

資産の種類	取得原価	当期増加額	当期減少額	減価償却累計額	当期末残高
線延資産	24,412	35	192	23,694	717
その他	7,884	304	8	5,180	2,703
合計	32,296	340	200	28,875	3,420

## 25 公共関係投融資の概況(一般勘定)

(単位：百万円)

区分		2017年度	2018年度
公共債	国債	—	—
	地方債	—	—
	公社・公団債	1,332	1,095
	小計	1,332	1,095
貸付	政府関係機関	1,761,792	2,010,416
	公共団体・公企業	—	9,000
	小計	1,761,792	2,019,416
合計		1,763,124	2,020,511

(注)上記表の公共債・貸付欄にはそれぞれ各年度の国内向け新規引受額、新規貸出額を記入しています。

## 26 海外投融資の状況(一般勘定)

## a. 資産別明細

## ●外貨建資産

(単位：百万円、%)

区分	2017年度末		2018年度末	
	金額	占率	金額	占率
公社債	7,664,115	67.0	8,276,365	67.1
株式等	760,731	6.6	909,479	7.4
現預金・その他	827,815	7.2	931,248	7.6
外貨建資産計	9,252,661	80.9	10,117,094	82.1

## ●円貨額が確定した外貨建資産

(単位：百万円、%)

区分	2017年度末		2018年度末	
	金額	占率	金額	占率
貸付金	141,197	1.2	155,908	1.3
公社債	53,338	0.5	—	—
現預金・その他	69,972	0.6	72,786	0.6
円貨額が確定した外貨建資産計	264,508	2.3	228,695	1.9

(注)「円貨額が確定した外貨建資産」は、為替予約等が付されていることにより決済時の円貨額が確定し、当該円貨額を資産の貸借対照表価額としているものです。

## ●円貨建資産

(単位：百万円、%)

区分	2017年度末		2018年度末	
	金額	占率	金額	占率
公社債	1,553,889	13.6	1,566,453	12.7
株式等	312,990	2.7	389,096	3.2
非居住者貸付	10,000	0.1	10,000	0.1
その他	49,312	0.4	14,383	0.1
円貨建資産計	1,926,192	16.8	1,979,933	16.1

## ●合計

(単位：百万円、%)

区分	2017年度末		2018年度末	
	金額	占率	金額	占率
海外投融資	11,443,362	100.0	12,325,723	100.0

b. 海外投融資の地域別構成  
(2017年度末)

(単位：百万円、%)

区分	外国証券		公社債		株式等		非居住者貸付	
	金額	占率	金額	占率	金額	占率	金額	占率
北米	3,525,959	35.7	3,054,114	34.7	471,844	44.4	47,808	82.7
ヨーロッパ	2,763,472	28.0	2,759,766	31.4	3,706	0.3	5,000	8.6
オセアニア	420,619	4.3	420,619	4.8	—	—	—	—
アジア	117,521	1.2	2,140	0.0	115,380	10.8	—	—
中南米	2,630,390	26.7	2,157,541	24.5	472,849	44.4	—	—
中東	—	—	—	—	—	—	—	—
アフリカ	3,567	0.0	3,567	0.0	—	—	—	—
国際機関	403,232	4.1	403,232	4.6	—	—	5,000	8.6
合計	9,864,763	100.0	8,800,982	100.0	1,063,780	100.0	57,808	100.0

## (2018年度末)

(単位：百万円、%)

区分	外国証券		公社債		株式等		非居住者貸付	
	金額	占率	金額	占率	金額	占率	金額	占率
北米	3,637,307	34.2	3,163,347	33.7	473,959	38.3	49,945	83.3
ヨーロッパ	3,278,736	30.8	3,269,150	34.8	9,586	0.8	5,000	8.3
オセアニア	468,747	4.4	468,747	5.0	—	—	—	—
アジア	93,816	0.9	2,129	0.0	91,686	7.4	—	—
中南米	2,843,476	26.7	2,180,384	23.2	663,092	53.5	—	—
中東	—	—	—	—	—	—	—	—
アフリカ	3,705	0.0	3,705	0.0	—	—	—	—
国際機関	310,628	2.9	310,628	3.3	—	—	5,000	8.3
合計	10,636,418	100.0	9,398,093	100.0	1,238,325	100.0	59,945	100.0

(注) 1. 本表は発行会社の国籍に基づき作成されています。

2. 中南米向け外国証券は、中南米に設立されたS P C(特別目的会社)が発行する債券もしくは優先出資証券、または海外投資信託等であり、発行会社の国籍に基づき中南米に分類されているものの、実質的には日本や北米・ヨーロッパ・アジア・オセアニア地域への投資です。

## c. 外貨建資産の通貨別構成

(単位：百万円、%)

区分	2017年度末		2018年度末	
	金額	占率	金額	占率
米ドル	5,772,976	62.4	5,932,327	58.6
ユーロ	1,867,816	20.2	2,452,470	24.2
豪ドル	1,199,622	13.0	1,226,942	12.1
ニュージーランドドル	201,812	2.2	300,817	3.0
ポーランドズロチ	94,996	1.0	112,432	1.1
中国元	44,106	0.5	43,175	0.4
ベトナムドン	33,190	0.4	33,182	0.3
インドネシアルピア	38,116	0.4	15,726	0.2
その他	23	0.0	19	0.0
合計	9,252,661	100.0	10,117,094	100.0